

升形小だより 5・6月号

平成25年6月7日
新庄市立升形小学校
文責 校長 横山 薫

力を出し切った運動会



新緑の中に赤と白の運動会看板が映え、さわやかな天気の下、升形小学校大運動会を行いました。連休明けから準備をし、テーマを「燃やせ友情の炎 44人の絆は優勝の証」としました。44人の子どもたちが絆を深め、一人ひとりが力を出し切る運動会ができたと感じています。子どもたちには、運動会という大きな行事から学んだことを、これからの学校生活や地域の活動にかかしてほしいと願っています。保護者の方々や八向中学校の生徒のみなさん、ご協力ありがとうございました。

今年度も保護者以外の地区236戸から「体育行事費」として、300円の協力金をいただいております。このお金は、運動会をはじめ水泳記録会、マラソン記録会、スキー記録会の賞品や参加賞、消耗品などにつかわせていただきます。地区のご協力により学校行事が円滑に運営されており、改めて感謝申し上げます。学校では、地区の期待に応えられるように、行事を通して、子どもたちが精神面で一回りも二回りも成長するように指導していきますので、今後ともよろしく願いいたします。

いのちの大切さを知る機会に

4月26日(金)の午後に、農業大学の学生が7名来校し、「さくらんぼ」の苗木を9本持ってきていただきました。また、5月9日(木)には受粉作業を行いました。

本校は、大学校との交流事業を行っており3年目になります。交流事業を通して「いのちの大切さ」を知る機会にしていきたいと思っております。

4・5年生が「総合的な学習の時間」の活動の一環として「さくらんぼ」を育てていきます。水や肥料のやり方を教えてもらいましたので、収穫の日を楽しみにして、毎日世話をしていきます。

「佐藤錦」「紅秀峰」が実を付け、みんなで味わうことを楽しみにしています。



読書は心の栄養



5月16日(木)新庄市図書館から移動図書館「かやの木号」の車が来ました。

5校時目、学年ごとに図書が置かれている「ふれあいルーム」や「かやの木号」の中に入り、借りる本を選びました。借りる本を入れる籠の中は、あっという間に本でいっぱいになり、子どもたちの楽しそうな笑顔が見られました。

読書は著者との対話であると同時に、想像力や集中力、思考力や語彙力など人間形成にとっても役立ちます。

本校では「読書は心の栄養になる」ことを、子どもたちに積極的に働きかけ、読書環境を整えていきたいと考えています。

ご家庭でも親子読書などに取り組んでみてはいかがでしょうか。

小中合同あいさつ運動 市内陸上競技記録会

5月21日(火)の登校時間帯に、八向中学校区の小中合同あいさつ運動を行いました。

中学校からは、生徒会の役員が升形小学校の校舎前に立ち、小学校の運営委員と一緒に、登校してくる児童に大きな声であいさつをしました。中学校とはこれからも、ボランティア活動などで一緒に活動をしていきます。さわやかな一日となりました。



6月6日(木)に、新庄市小学校陸上競技記録会が東山の陸上競技場で行われました。

49回という歴史のある大会ですが、昭和の時代の記録がまだ破られていない種目があります。記録に挑戦する気持ちを持たせて練習に取り組んできました。

6年生は、100mとソフトボール投げ、そしてリレーに出場しました。リレーは女子が決勝に進出し、男子は6位入賞を果たしました。

自分の力を十分に出し切り、一人ひとりが成就感をもつことができた記録会であったと思います。他の学校の児童と交流できたことは、子どもたちの成長に繋がっていくと考えます。

がんばろう「わかすぎテスト」

2ヶ月が過ぎようとしています。今年度も、国語と算数の学習内容から基礎・基本のテストとして、わかすぎテストを実施します。1回目は6月です。

プロ野球選手は、キャッチボールを単に肩慣らしのためではなくて、めあてを持って行うそうです。キャッチボールは、野球の基本なのだそうです。

本校で最も大切にしているのは、学習内容の「基礎・基本」です。何回も反復練習をすることで、「基礎・基本」が身につくのです。また、升形小学校の教育の柱として、「家庭学習の習慣化」を図っていくことを重点にしています。家庭学習を、子どもたちの生活リズムの中に位置づけることが大切です。

ご家庭で声かけをしていただき、「わかすぎテスト」に挑戦する意欲を高めていただきたいと思います。